

西柴 だより

平成28年1月15日

西柴中学校区学家地連

金沢区東部連合町内会
金沢区中部連合町内会
横浜市立西柴小学校
横浜市立八景小学校
横浜市立西柴中学校

「謹んで新年のご挨拶を申し上げます」 八景小学校長 大橋 義信

平素より八景小の子ども達がお世話になっております。本年も何卒よろしくお願ひいたします。さて、年頭恒例の、今年や今後の社会を予測するテレビ番組を観ていると、興味深い数字が出てきました。アメリカの大学の研究者が「2011年に入学した小学生(28年度の6年生)の65%は、大学卒業の年齢のときには、今存在していない職業に就くだろう」と、また、別の研究者は、「10~20年後には、今ある仕事の47%が自動化されているだろう」と予言しています。

確実に訪れるであろうこのような社会で、今の子ども達が「生き抜いていくことのできる力」は枚挙にいとまがないですが、中でも、人と人とのコミュニケーションがとれる力はとても大切だと思います。その第一歩は、挨拶ではないでしょうか。学校だけではなく、まちの中で気さくに挨拶の言葉を交わし、それを継続して行っていれば、いくらICT化が進んでも、温かい「人間味」がいつまでも漂うことと確信します。これからも、学校・家庭・地域が温かく子ども達を見守っていければ、と思います。

改めて、よろしくお願ひいたします。

“one for all, all for one”



西柴の「まち」に育つ 西柴小学校長 島田喜次

新年、あけましておめでとうございます。日頃の学校教育活動へのご協力に、改めまして感謝を申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。

今年は暖かい新年のスタートでした。早々に桜の心配をして、同時にいつも西柴の街が明るくあるように願った新年でした。冬晴れの季節、向こうに富士を見ながら、学校からは歴史と緑と海に恵まれたこのまちを思います。毎日、子どもたちを見守って下さる地域の皆様の暖かさがある、ここを「ふるさと」として育つ子どもたちの幸せを感じます。心ゆたかに、健やかに育っていくことを願ひ、教職員一同、地域・家庭と手を携えながら歩んでいきたいと思ひます。本校の教育目標は「光 あふれる 西柴」とうたっています。本年がよき年でありますように願ひています。

職業インタビュー・職業体験が行われます

西柴中学校では、2月5日(金)に1年生の職業インタビューが、2月12日(金)には2年生の職業体験が行われます。

生徒が何う折にはいろいろとご迷惑をおかけするかと思ひますが、温かくご指導くださいますよう、よろしくお願ひいたします。



「新年のご挨拶」 金沢東部連合町内会会長 青木 伸一 様

あけましておめでとうございます。

今年は、金沢東部地区第3期地域福祉保健計画のスタートの年です。

超高齢社会を見据えて、誰もが健康で安全・安心に暮らせる街をめざして地域の皆様の環境づくりに全力を注ぎます。

人間関係を結ぶ基本的な言葉として、“ありがとう”と“どうぞ”があります。“どうぞ”は、ものを頼むときの丁寧語法です。“ありがとう”という言葉の魔力。感謝のあらわれの美しい言葉、人間関係をつくる基本的な言葉ですが、“ありがとう”という言葉をめぐる人の心が時に揺れ動き、騒ぎ、乱れ、満たされるのは、それだけ言葉が人間関係相互の認識や評価にかかわる言葉だからです。同じ行為を受けても“ありがとう”と言わない立場の人たちがいます。とかく、商品の売買をめぐる“ありがとう”と言うのは、売った側だけが多い。家族関係においては、身近の世話を受けてもめったに“ありがとう”と言わないことが多い。妻に対する夫、嫁に対する姑、子供に対する親、という立場の人たちは、もちろん人による違いはあるけれど、しばしば“ありがとう”と言わないものです。強制ではなく、自然に心の底から出てくる“ありがとう”の言葉が言った方も言われた方も気持ちがいいものです。

この地域で“ありがとう”という言葉が飛び交うことを期待しています。

今年も皆様が、健康で楽しい一年を過ごせますようお祈りいたします。



「新しい年を迎えるにあたり」

金沢中部連合町内会 片吹団地自治会長 山崎 幸雄 様

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと様々な出来事が発生しております。明るい話題では二人の日本人がノーベル賞を受賞したこと、夏の高校野球で県代表が優勝したことなどがあげられるでしょうか。一方心が痛む悲しい出来事もいくつかありました。その中でも2月に川崎で、8月に大阪で起きた中学生殺害という事件は、改めて学校の、家庭の、そして地域の役割・連携を考えさせられた事件ではなかったでしょうか。2つの事件共、被害者も加害者も中学生と云う何ともやり切れない痛ましく、そして悲しい事件でした。さらに学校、家庭、地域の大人たちがその前兆に気付いていれば、未然に防ぐことができたかもしれないと思うと余計に心が痛みます。

翻ってみますと私達が生活をするこの地域は、能見台緑地と云う豊かな緑、海の公園と云う大海原等自然に囲まれ、さらに「金沢文庫」という歴史的な遺産もあり、大変穏やかで恵まれた生活環境にあると思っております。この自然に恵まれ、そして穏やかな環境の中で学び、生活出来ることは、子供たちが健全で伸び伸びと成長するうえで、大変貴重で大切なことではないでしょうか。いつまでもこの環境を守り、伝承していかなければなりません。そのためには学校、家庭、地域の大人たちがそれぞれの立場で役割を果たし、連携していくことが極めて重要であることは申し上げるまでもないと思います。一人一人が目配り、気配りをさらに高め、子供たちの痛ましい事故が起きない平穏な年になって欲しいと心から念じております。

本年が皆様方にとりまして明るい良い年になります事をご祈念申し上げますと共に、併せましてご健勝で御活躍されますことをお祈り申し上げます。